

日本ITU協会 研究会開催一覧 (2024年4月～6月)

ITU-R研究会	テーマ	概要	講師
第409回 2024年4月26日	UTCの将来問題 うるう秒これまでの 20年とこれから —WRC-23 決議655 (WRC-23) から—	2000年に研究課題236「UTCの将来問題」として開始されたうるう秒に関する課題は20年以上にわたり世界各国を巻き込んで大きな議論を巻き起こしました。 WP7A、SG7の議論を経て2012年に勧告ITU-R TF. 460-6からうるう秒を廃止する改定案がRA-12に提案されましたが、反対する国のほかにアラブやアフリカ諸国からは「更なる情報提供を」という要望が強く出されWRC-15へ議論が持ち越されました。しかしWRC-15においてもうるう秒廃止と存続の双方が鋭く対立し、決議655 (WRC-15) を作成してWRC-23に再度議論することになりました。 本講演では、今回WRC-23において一応の決着を見た「UTCの将来問題」について過去の経緯から今後の方向性を含め解説いたします。	国立研究開発法人 情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波標準研究センター 時空標準研究室 岩間 司氏
第410回 2024年5月24日	6Gに向けた サブテラヘルツ帯 超高速無線伝送に 関する研究	6Gに向けて世界の様々な研究機関などからコンセプトなどの公開が進められているとともに、2030年代での実用化に向けて様々な議論が進められています。この中でスループット100Gbpsなどの超高速伝送を実現するコンセプトが提唱されており、広い周波数帯域幅を確保できるサブテラヘルツ帯の6Gでの利用が注目されています。これまでサブテラヘルツ帯の利用において、様々な基礎的な研究が進められており、今後、6Gに向けて移動通信システムでのサブテラヘルツ帯利用に向けた研究が進められます。 本講演では、総務省の電波資源拡大に関する研究開発での受託研究開発成果を概説します。 具体的には、サブテラヘルツ帯での無線伝送距離の延伸化を図る無線システム構成技術、超多素子アクティブフェーズドアレーアンテナ技術、高出力送信を可能にする化合物半導体技術に関することです。 これらの研究により、100GHz超帯にて無線伝送距離100m、スループット100Gbpsを達成しました。	株式会社NTTドコモ 鈴木 恭宜氏 日本電信電話株式会社 高橋 宏行氏 日本電気株式会社 丹治 康紀氏 富士通株式会社 多木 俊裕氏
第411回 2024年6月21日	放送技術の標準化に 取り組むITU-R SG6 —SG6議長等の経験 を振り返る—	ITU-Rで放送業務を担うStudy Group 6は、無線通信を扱うITU-Rにあって、無線伝送技術のほか、伝送対象の映像・音声・データ(コンテンツ)の標準化も行う特異な存在です。 講演者は、約30年間にわたってITU-R SG6における放送技術の標準化に関わり、WP副議長、WP議長、SG副議長、SG議長を歴任し、放送の発展に資する様々な技術の標準化に取り組んできました。 本講演では、この経験を振り返るとともに、今後の放送技術の標準化を考えます。	NHK放送技術研究所 フェロー 西田 幸博氏

ITU-T研究会	テーマ	概要	講師
第567回 2024年4月19日	Latest trends in Standardization of future and emerging network technologies based on ITU-T Study Group 13 activities. 将来及び新興の ネットワーク技術の 標準化最新動向 —SG13活動をベース に—	ITU-T Study Group 13 has been active in the standardization of non-radio aspects of future networks and emerging networking technologies such as AI-based networking, information-centric networking, and quantum key distribution networks. In this lecture, we cover the recently approved or currently work-in-progress ITU-T documents on use cases, requirements, framework, and architectures. SG13は、将来のネットワークや、AIベースのネットワーキング、情報セントリックネットワーキング、量子鍵配布ネットワークなどの新興ネットワーキングテクノロジーの非無線側面の標準化に取り組んでいます。 本講演では、最近承認されたものを含めた(ネットワークに関する)ユースケース、要件、フレームワーク及びアーキテクチャ等について説明します。	国立研究開発法人 情報通信研究機構 ネットワーク研究所 ネットワークアーキテクチャ 研究室 主任研究員 Mr. Ved Prasad Kafle (ベド プラサド カフレ氏)